

超音波による肝腫瘍診断

本学で実施しております以下の研究についてお知らせいたします。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	超音波による肝腫瘍診断
倫理審査受付番号	第3857号
研究期間	2021年 8月実施許可日～2023年 3月31日
研究対象情報の取得期間	下記の期間に肝胆膵内科を受診された、肝腫瘍の方 2008年 4月 1日～2021年 6月30日
研究に用いる試料・情報	カルテ情報、その他（超音波検査、CT検査、MRI検査、PET-CT検査などの画像情報等）
研究概要	（研究目的、意義） 肝腫瘍のスクリーニング、診断において超音波検査は体への負担やコストなどの面で最も優れていますが、必ずしも確実な診断ができるわけではありません。そこで、超音波による肝腫瘍の診断能について検討することを目的としています。これにより超音波による肝腫瘍の診断がより確実になり、身体的、経済的負担が軽減します。

(研究の方法)

2008年4月1日から2021年6月30日までに兵庫医科大学超音波センターで超音波検査を受け、肝腫瘍を指摘された患者さんについて生年月日、超音波検査日の年齢、性別、身長、体重、PS(performance status 全身症状の医学的指標)、他疾患の既往、投薬内容、基礎疾患や合併症などのカルテ情報、超音波検査、CT検査、MRI検査、PET-CT検査などの画像検査や血液検査、組織検査などのデータを使用します。これらを使用して超音波による肝腫瘍の診断と血液検査や画像検査、肝腫瘍組織がある場合は肝腫瘍組織と比較して、超音波による肝腫瘍診断能について検討を行います。この研究のために特別に来院していただく必要はありません。

(個人情報の取扱い)

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

**本研究に関する
連絡先**

兵庫医科大学病院 肝・胆・膵内科
飯島 尋子 (研究責任者)
西村 貴士 (研究担当者)

TEL | (平日 9:00~17:00) 0798-45-6472 (肝胆膵内科医局)
(上記時間以外) 0798-45-6111